

【最近のこれはまずいぞ！】『僕の、世界の中心は、君だ。』

おなじみ『世界の中心で、愛をさけぶ』の韓国版リメイク。とにかく、意味不明すぎ。なぜ、オリジナルの題名に仕上がったんでしょね。

声の出演 山田康徳 堀江謙子 朝本須美

「ルパン三世 カリオストロの城」

1979年日本 監督 宮崎駿

世界的・大泥棒ルパン三世は、今日も相棒の次元大介とモナコの国営カジノの大金庫から、大金を強奪！悦に入っていたルパンだったが、ある事に気が付き愕然とする。なんと強奪したお札はすべて偽札。それも「ゴート札」と呼ばれる世界で最も精巧な偽札だったのだ。国営カジノまでも浸透している「ゴート札」に興味を持った二人は早速、「ゴート札」が作られているというヨーロッパの小さな国のカリオストロ公国に向かう。カリオストロ公国に入ったところ、何者かに追われる小さな車を発見！運転しているのはウエディングドレスを着ている美少女。しかし、彼女は運転席で気を失っている。少女に興味を持つ



セゴビア アルカサル (城) 宮崎駿のデビュー作。この映画から宮崎プラントが始まったとも言える。ステイ

「史上最高の冒険活劇の一つ」と評し、特に冒頭のカーチェイスを「映画史上最も完璧なカーチェイス」と言ったという伝説もある。日本でアニメを映画と認識させたのが、宮崎監督の『となりのトトロ』ですが、この映画を見てその原石を感じる映画でもあります。

たルパンは、車を追い、少女を助けようとするが失敗。しかし、さすがルパン、少女の指輪は頂戴していたのでした。その後、ルパンは少女の名前がクラリス、カリオストロ公国大公家の継承者だという事を知る。そして、その夜、二人は何故か暗殺者達に命を狙われる事になる。

今や、アニメーション界の神様のデューク。この映画から宮崎プラントが始まったとも言える。ステイ

Film Movie Cinema Film Movie Cinema

コラム
「こつちができたから あつちもできる」という論理

関西では、橋下市長が就任し、今ままで問題あり！だった市政を次々と改革！いや、すごいですね。それは、橋下さんだからできた事。今まで、どなたかのヒモ付きの市長にはできなかった事です。

先日は、公共の面前で市政を牛耳っていた「労働組合」の執行委員長に頭下げさせたり、自分を褒めたたえるタレント・政治家には「二ヤニヤ顔で応対し、自分に疑問の持つ人には罵詈雑言で応戦。関西人は、こういうはっきりものを言う人間が好きだから橋下さんのご指名の府知事もめでたく当選。早速の東京詣でも大成功でおめでとございます。

橋下さんは市長になってから「意外と役人の人達が、言う事を聞いてくれる」とおっしゃっていらつしやるようですが、そりゃあ「抵抗する人は止めてもらっつて公言されりゃあ、言う事聞くわな。改革も次々と実行され

大阪の街はまだまだ開発中だ。



「今まで市政の邪魔をしていた労組撤退」(西成区のおじさん達の仕事を心配し、税金などを減額して府外から若者世代を招く)あ、橋下さんを支持する人増えますね。すごいですね。橋下さんだからできたと思います。

そんな橋下さんを彼を知るタレントさん達が褒めたたえます。その決断力はすごい、君は国政に行くべきだ！と助言しているようです。

でも、そうでしょうか？市政ができたから、国政がうまくいくものでしょうか？頭のいい老練な彼なら「なんとか」してくれらるというのですが…。市政を変えたから、国政も…つと、こつちができたからあつちもできる…なんて考えは安直な感じがするのですがどうでしょう。

※編集後記※

☆あつと言う間に、もう、月の半分…その間に…北朝鮮から船が流され、オウムの手配犯が自首をし、大阪市長が当選して一カ月も経ち、去年と同じ次々と何かが起こっている感じがします。

実は、先日わが家が漏水している事が発覚、家の回りを水が溜まっていなかったか家の蛇口から水が漏れていないかと確認したりと大騒動。ようやく、散水栓と水道の繋がっているところが外れて漏れていたという事がわかりホッとしました。修理も案外、小雨の降るなか早くやってくれて助かりました。実は今週身内の入院の為の付き添いや、漏水工事やらで、あつちこつちをうろうろ…。ほんとに災難とは突然やってくるもの…。そんな事を痛感させられた一週間でした。寒さも、だんだんと厳しくなってきました。皆さま、お体にお気をつけくださいませ。

【最近のこれはお見事！】『日本以外全部沈没』

『日本沈没』が発表された時に、小松左京の友人達が面白がって作った小説の映画化。この題名の発想が面白い。たぶんお話も『日本沈没』より面白いのではないかと思ったりする(笑)

